



アクモス 株式会社

アクモス事業説明会

2012年9月27日
代表取締役 飯島 秀幸



本日のご説明内容

1. 21期のアクモス

2. 新製品紹介

3. 22期のアクモス

4. 次期中期経営計画へ向けて



アクモス 株式会社

21期のアクモス





21期 マネジメントサマリー 1

21期テーマ1

サービス領域の拡大と質の深化

◆茨城県「ひとり親家庭等在宅就労支援事業」

- ・複数年度の官公庁事業一括受託
- ・IT技術を活用した教育サービス事業
- ・平成23年度事業の受講生約500名

⇒修了生の一部は在宅勤務にて就労へ

◆請負契約案件への取組み

- ・自主受注活動 ⇒環境変化下で特色遡及できず低調

課題 1

- ・開発案件長期化・経験者不足 ⇒不採算プロジェクト発生

課題 2



21期 マネジメントサマリー 2

21期テーマ2

安心・安全なリスクマネジメントの確立

◆安全 事業基盤安全性

震災時の教訓

- ・長期停電でサービスの停止



- ・情報システムの事業継続計画(BCP)の見直し

大手通信事業者系データセンター(クラウドサービス)の活用

お客様向け公関係WEBサービス 新規は全て、既存の4割を移行

- ### ◆安心 社員が安心して業務に取り組める仕組み作り
- ・「緊急通報安否確認システム」の採用等



2つの課題

課題1 事業環境の変化への対応



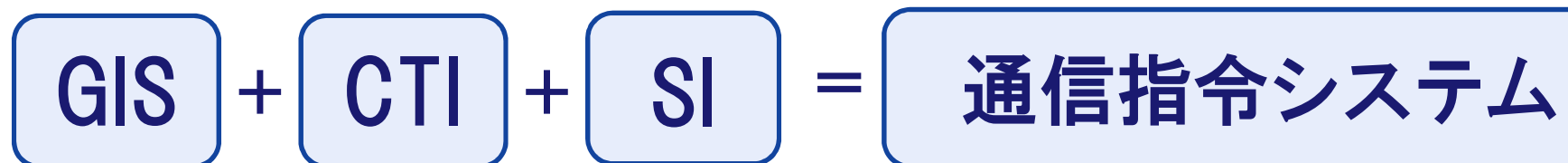
- ・お客様の要求が多様化
きめ細かい顧客対応が必要

課題2 不採算プロジェクト”ゼロ“化への対策



- ・プロジェクト管理体制の見直し
- ・品質・技術力向上

◆通信指令システム完成



- ・2012年3月 研究開発活動完了
6月 標準機能開発完了

- ・総開発費用 : 約8,000万円
 - 研究開発費 : 5,500万円
 - ソフトウェア : 2,000万円

- ・21期中に関連受注2件

- ・GISパッケージソフト
スマートデバイス(Android、iOSなど)への対応に着手





アクモス 株式会社

新製品紹介





新製品の特徴

既存技術の活用

CTIアダプタ自社製品化

PBX(構内交換機)式に比べ、
ローコスト、省スペース化



信頼性の高い
既存機器
の組み合わせ

GISパッケージソフト

マルチプラットフォーム対応
による高拡張性



(Windows)
スタンドアロン対応
CSS対応

(Android, iOS)
Web対応 GIS
ナビ対応 GIS

省スペース・ローコスト・高拡張性を実現



消防救急通信指令システム

車載端末
タブレット
スマートフォンへ対応





消防通信指令システム市場

・消防救急無線は2016年5月末までにデジタル化

デジタル化に併せリプレース

デジタル化を機に新規導入

デジタル化はチャンス

・消防本部は全国で約800カ所(2010年)

管轄人口	システム規模	消防本部数
40万人以上	Ⅲ型	52
40万～10万人	Ⅱ型	265
10万人未満	I型	485

・システムを導入していない消防本部が120以上ある

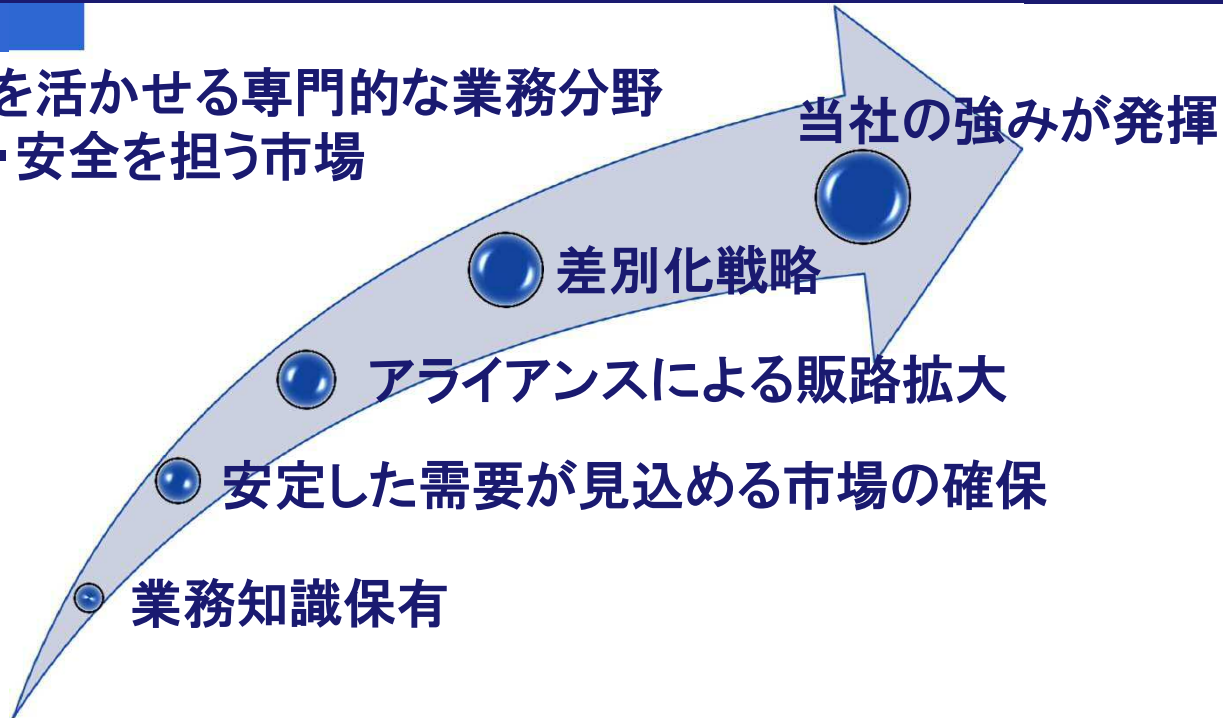
I型(管轄人口10万人前後)をターゲット

小規模な消防本部でも導入しやすい消防通信指令システムを実現



事業ロードマップと受注計画

- ・強みを活かせる専門的な業務分野
- ・安心・安全を担う市場



【公共分野】

- ・消防
- ・警察

【一般産業】

- ・製造業
- ・運送業

◆年度受注計画





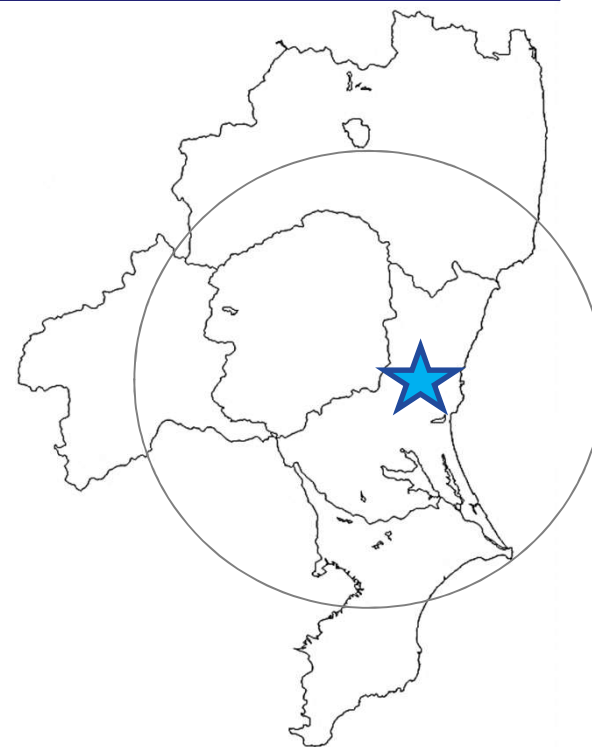
営業戦略

◆全国展開

- ◆株式会社日立製作所 ソリューション推進本部様
「I型消防本部様向け通信指令システム」に採用
⇒全国のI型消防本部様への同行営業活動推進

◆当社の重点エリア

- ◆茨城本部のある茨城県を中心に
近隣諸県に営業展開





活用イメージ

ユビキタス
に対応したSIビジネス

スマートデバイス
+
データセンター
を基本構成とした取組み

地図データ(GIS)
コールセンター(CTI)
を組み合わせ活用

提案型ブランドビジネス

地図データ
画像データ
各種ユーザ
管理データ

業務用アプリケーション

登録・保管・検索・閲覧・編集



システム構成例

- ◆ 営業支援システム
- ◆ 配車管理システム
- ◆ 業務管理システム
など

対象となる市場

- 不動産業
- 金融業
- タクシー業
- 運送業
など



アクモス 株式会社

22期のアクモス





22期 基本方針

中期経営計画での達成目標

中堅のITソリューションベンダーとして
事業基盤を確立、安定的収益を確保



22期 アクモスグループ基本方針

自社の強みを活かす

自社ブランドの創出

「事業再構築」「新規事業創出」

人材活性化と適材適所人事

品質保証体制の確立

フラットで迅速な組織体制



22期テーマ1 事業再構築～事業基盤の強化～

◆組織改革



- ・顧客別組織編成
- ・品質保証機能強化、プロセスの可視化

◆人材育成



- ・技術研修の実施
関連するビジネススキル開発と併用し、
適応力向上、人財化



◆ソーシャルソリューション事業部の新設

- ・事業を支える体制の構築
ワンストップサービスを実現する
営業、開発、品質保証の一貫体制



【今後の取り組み】

- ・プロジェクトマネージャーの育成強化
- ・地域パートナーの開拓



アクモスグループ事業体制図

アクモス株式会社

ソーシャルソリューション事業部

- ・通信指令システム
- ・CTI
- ・GIS
- ・スマートデバイス

事業本部

- ・IT基盤設計・構築
 - ・SI・ソフトウェア開発
 - ・システム運用・保守
- 公共
産業・製造系企業
医療機関など

株式会社エクスカル

- ・規格認証サービス
- ・第三者検証サービス
- ・ユーザビリティ

ACMOSソーシングサービス株式会社

- ・病院システム運用開発
- ・業務系、基幹系システム開発
- ・ヘルプデスク

株式会社ジイズスタッフ

- ・情報処理サービス
- ・BPOサービス



単体ITソリューション群



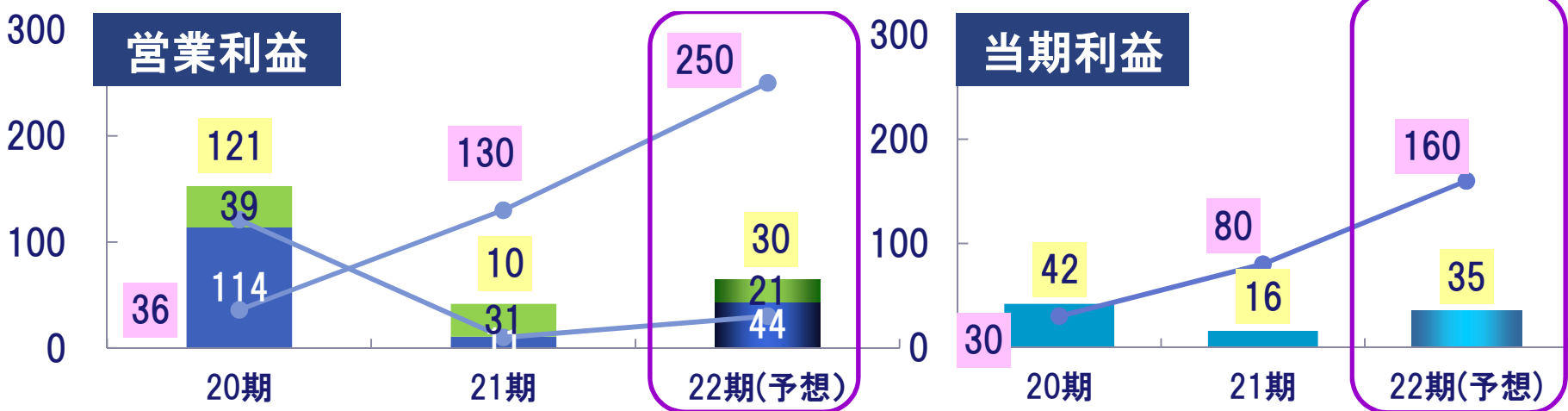
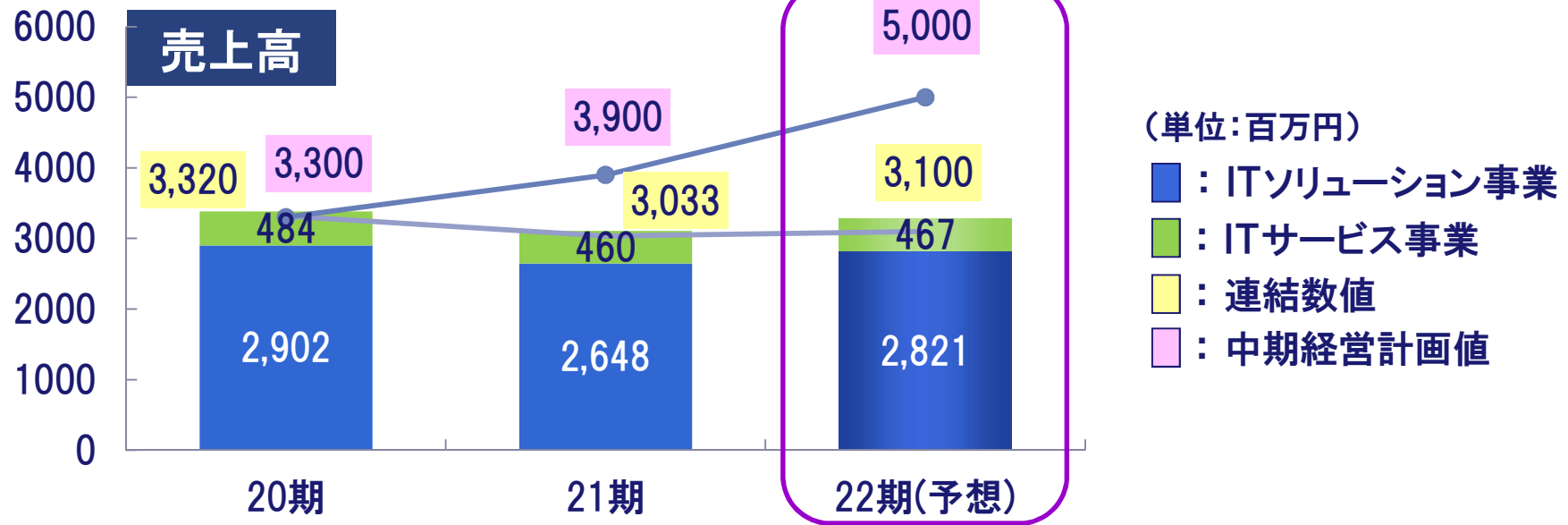
ITソリューショングループ企業



ITサービスグループ企業



22期 業績予想



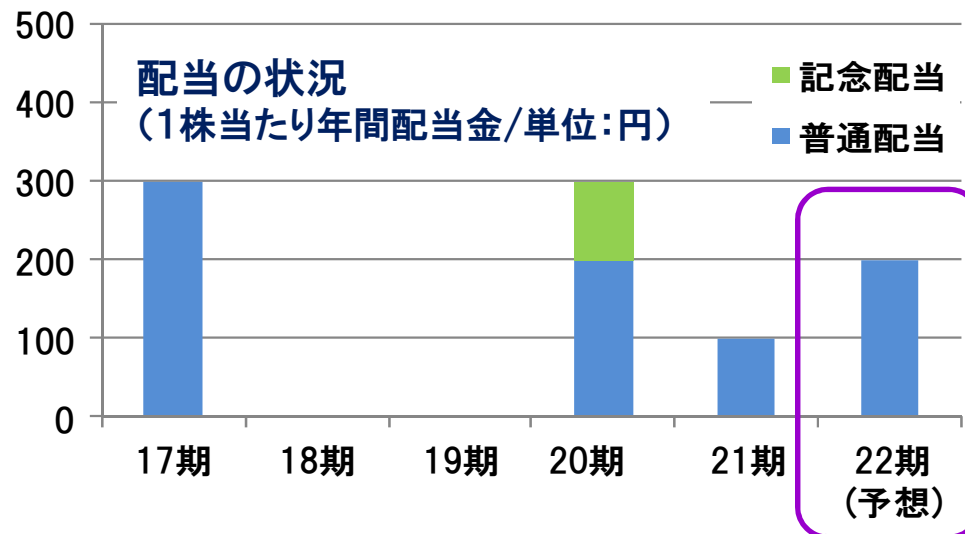
※ 22期予想には、新規M&Aに等による影響は見込んでおりません



配当予想

◆利益配分に関する基本方針

- ・収益力向上、財政基盤の強化 ⇒ 配当原資確保
- ・目標配当性向 ⇒ 単体当期純利益比30%
※連結業績・財政状態・内部留保を総合的に勘案し決定



今後も継続的な配当の方針で臨みます



アクモス 株式会社

次期中期経営計画に向けて

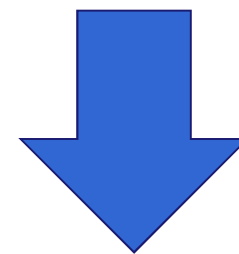
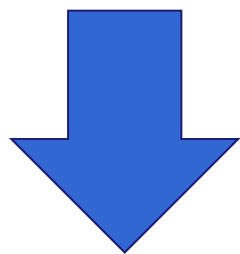




事業面での方向性

自社の強みを活かす

強み 社会インフラシステム開発の豊富な経験
官公庁を中心とした提案型事業への参画



既存事業の再構築

新規事業の創出

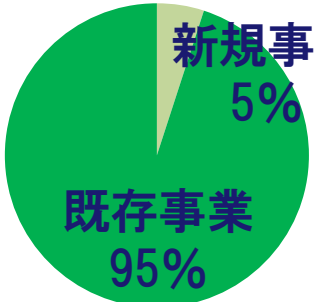
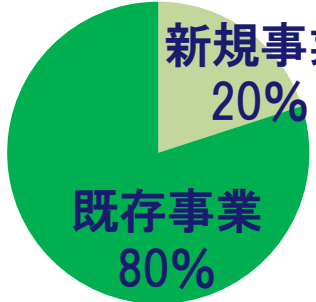
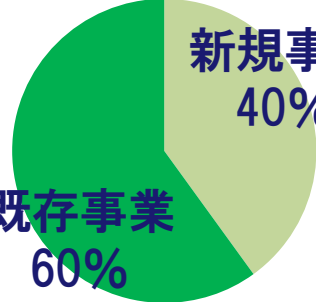
専門性を生かした製品・サービスの拡充



事業構造の変革で更なる成長へ

22期

25期

<p><u>売上構成比</u></p>	 <p>新規事業 5%</p> <p>既存事業 95%</p>	 <p>新規事業 20%</p> <p>既存事業 80%</p>	 <p>新規事業 40%</p> <p>既存事業 60%</p>
<p>既存事業の再構築</p>	<p><u>エリア戦略</u> 東京事業所を中心とする首都圏事業の推進</p>		
<p>新規事業創出</p>	<p><u>新規事業の拡大</u> CTI、GIS等自社製品を中心に専門性の高い製品・サービスを展開</p>		



■本資料について■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しに関する記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営企画室 TEL:03-5217-3123